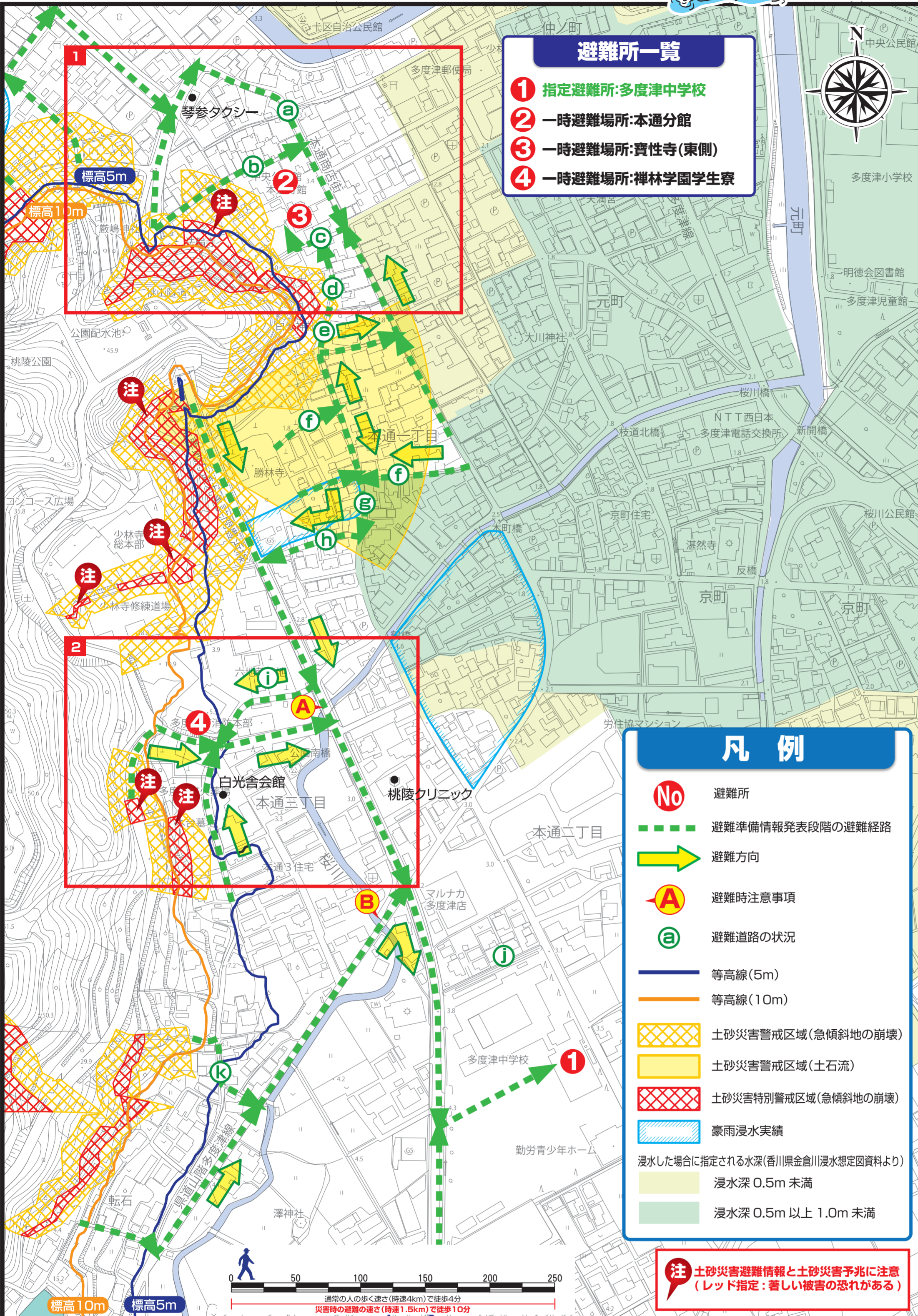




●黄色(網線)で塗りつぶされた範囲  
(土砂災害警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れのある区域」です。  
●赤色(網線)で囲まれた範囲  
(土砂災害特別警戒区域)は、「土砂災害が発生した場合、建物に損害が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れのある区域」です。

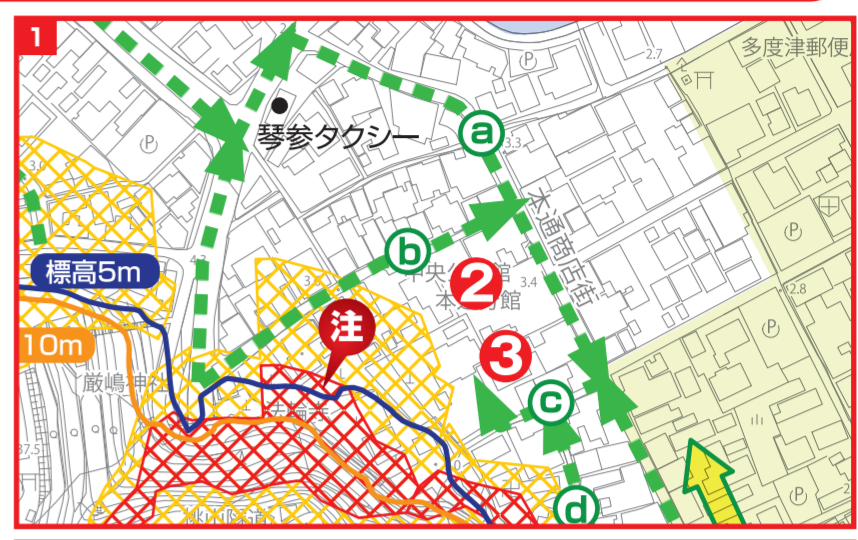


- ### 避難所一覧
- ① 指定避難所:多度津中学校
  - ② 一時避難場所:本通分館
  - ③ 一時避難場所:寶性寺(東側)
  - ④ 一時避難場所:禅林学園学生寮

- ### 凡例
- No 避難所
  - 避難準備情報発表段階の避難経路
  - 避難方向
  - A 避難時注意事項
  - a 避難道路の状況
  - 等高線(5m)
  - 等高線(10m)
  - 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 土砂災害警戒区域(土石流)
  - 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 豪雨浸水実績
  - 浸水した場合に指定される水深(香川県倉川浸水想定図資料より)
  - 浸水深 0.5m 未満
  - 浸水深 0.5m 以上 1.0m 未満

**注** 土砂災害避難情報と土砂災害予兆に注意  
(レッド指定:著しい被害の恐れがある)

**多度津中学校へ避難してください。**  
桜川が横溢した場合は、本通分館や禅林学園学生寮に避難。  
収容力を考慮して、寶性寺(東側)にも避難。



**② 一時避難場所**  
多度津中学校への避難を原則。桜川が横溢した場合は、本通分館へまず避難。収容力を考慮して、寶性寺(東側)にも避難。

**④ 一時避難場所**  
桜川が横溢した場合、禅林学園学生寮に避難する。

**A** 河川からの横溢に注意  
**B** 河川からの横溢に注意

- a 幅5m程度の道路
- b 幅4m程度の道路
- c 幅2.5m程度の道路
- d 幅3m程度の道路
- e 幅2m程度の道路で、ブロック塀が多い。
- f 幅2m程度の道路で、暗渠からの出水に注意。
- g 幅3m程度の道路で、暗渠からの出水に注意。
- h 幅4m程度の道路で、暗渠からの出水に注意。
- i 避難方向(桜川横溢)
- j 幅1m程度の道路
- k 幅3m程度の道路



## 土砂災害の種類



**がけ崩れ・山崩れ**  
地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる。日本で最も多い土砂災害で、人家の近くでも発生するため、逃げ遅れて犠牲になる人も多い。



**土石流**  
谷や斜面にたまった土や石、砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す。強大な威力と圧倒的なスピードで、進行方向にあるものを次々とのみ込み、壊滅させていく。



**地すべり**  
脆弱な地質の土地に豪雨が降り、ゆるくなった斜面の一部が地下水の影響と重力で下方へと移動する現象。一度に広範囲で発生するために、住宅や道路、鉄道などに大きな被害をおよぼす。

